

校長室へどうぞ

広島市立伴東小学校 期間 平成13年11月15日(木)～17日(土)

実施内容

昨年度(平成12年度)の「学校へ行こう」週間には、「校長と語ろう会」を企画した。保護者や地域の人が多く参加して、日頃思っている学校に対する意見や考え、子どもたちの地域での生活の様子等、率直な意見が出た。その中で今回のように日時を決めて行うのもよいが日を決めずに「いつでもどうぞ」の方がもっと参加しやすいという声が上がった。そこで、本年度の「学校へ行こう」週間では、日時を設定せずに「校長室へどうぞ」ということで、保護者や地域の人々が気軽に校長室へ来て話ができるように企画した。

「学校へ行こう」週間の期間中、保護者はもちろんのこと、地域のお年寄りや各種団体の方、来年度入学予定の保護者などが気軽に校長室を訪れた。「学校の安全対策はどうなっているのか。」「学校の環境美化についてどう考えているのか。」「PTA活動をもっと活性化するには。」「子どもと教師がもっと一体化して活動してほしい。」というきびしい意見や「もっと学校を開放し、いつも地域の者が学校へ行けるように企画してほしい。」「子どもたちと触れあいたい。」「地域の協力はおしまない。」という建設的な意見など、これから本校が取り組むべき貴重な意見を聞くことができた。

保護者や地域の方の感想

「期間中、いろいろな伴東小学校の様子を見させてもらい、とても良かったと思います。1日目の障害者の方のお話や3日目のなかよし集会は、こういう機会がなければ見せてもらうことができないのでとてもうれしかったです。また、校長室へどうぞということで校長先生と話ができとても身近に感じました。家庭と地域と学校の三者がともに子どもを育てることの大切さを話された校長先生の言葉を聞いて、地域での子どもたちへの声かけがもっと必要だと感じました。」

(注) 障害者理解のための障害を持った人の話を聞く会、児童会行事のたてわり班による「なかよし集会」は、ともに年間計画に基づいた学習で、ちょうど「学校へ行こう」週間の期間中にあった。

成果と今後の課題

地域の人や来年度入学の保護者に子どもたちの様子を見てもらうことができ、普段の参観日とは違うよさがあった。また、校長室を開放することによって日頃の学校に対しての思いを聞くことができたのもよかった。今後ますます学校としての教育計画、実践内容、成果と課題等を保護者や地域に説明していきながら責任ある取組みを進めることが大切である。学校へ行こう週間が、開かれた学校に向かう一つのきっかけとなったという手ごたえを感じている。